

## 大妻中野中学校・高等学校

中学入試

住所 〒164-0002 中野区上高田2-3-7

電話 03-3389-7211(代表)

FAX 03-3386-6494

URL <http://www.otsumanakano.ac.jp/>

帰国生受け入れ開始年度 2002年

2019年度帰国生在籍数 中学1年:22人 中学2年:30人 中学3年:23人 高校1年:39人 高校2年:14人 高校3年:33人

帰国生のための部署/担当 国際部/入試広報部主幹 篠原洋二先生(shinohara@otsuma.ac.jp)

帰国生入試について					
出願資格・条件	海外在留期間が1年以上、かつ入学時点で帰国3年以内の者				
出願書類	海外在留証明書、検定合格証明書または公式認定証等(該当者のみ)				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	116	115	111	22
	2018年	105	103	101	29
	2017年	92	83	82	22
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	①保護者の転勤に伴う海外在住が1年以上あること。②編入の学年が中学1年~高校2年次まで(高校3年次では4月から入学できる)であること。				
出願書類	①編入学試験願書 ②在留証明書 ③現地校成績証明書(直近1年の成績証明書 - 在籍の記録があること) ④推薦書・Letter of Reference ⑤資格証明・各種Awardsなどの写し				
募集	中1~高3の1学期(4月入学まで)				
実施時期	ただし、原則的にはすべての学年で、4月、9月、1月の学期ごとに編入試験を実施する				
帰国生に対する配慮					
<p>基本的な帰国生教育観:本校は、帰国生を日本の社会に同化させようとする適応教育ではなく、帰国生の異文化体験から得た特性を見だし、それを伸長させる教育を実践しています。つまり、帰国生教育が補償教育ではなく、帰国生と一般生とを相互に啓発させる教育になっていることが特徴です。帰国生の多くが学ぶコースであるグローバル・リーダーズ・コースを設置しています。そのカリキュラムの特徴は以下の通りです。</p> <p>①独自の外国語カリキュラム ・ネイティブ・スピーカー教員がメインのカリキュラム ・徹底した英語4技能スキルの向上 ・海外の大学で学べる英語力 ・複言語主義・フランス語を中1から必修 ・フランコフォニー(フランス語圏の文化)</p> <p>②Global Issue Studies ・学校独自の教科 世界の課題のリサーチとソリューション ・ユネスコ・スクール</p> <p>③Beyond School ・留学と国内外の外部プログラムへの積極参加</p> <p>帰国生のメンタルサポートのために、保護者の「肯定感」を大切にしています。そのため、帰国生の保護者だけの保護者会、帰国生と帰国生卒業生との懇談会を実施しています。</p>					
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など					
<p>外国語(英語):Focus on Academic Reading [Cross Curriculum and Academic Words List], Developing English Essay Writing Skill and Creative and Critical thinking Skills in English for Speaking and Debating</p> <p>外国語(フランス語):中1~高1はグローバル・リーダーズ・コース、必修。高2、高3は選択必修。フランス語圏の文化と一緒に学ぶ。日仏高校ネットワークにより、フランスの高校生と交流をしながら、フランス語を学ぶ</p> <p>数学:中1、中2は2段階レベル別に分けて少人数で指導</p> <p>国語・社会:特に日本語の漢字・語彙、社会(日本地理・歴史など)で課外でのサポート講座を実施。カウンセリング的な対応も併せて実施。</p>					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
・英語を読むことが好きになってほしい。 ・手で英語を書く習慣と訓練をしてほしい。 ・教育漢字を読めて、意味が十分にわかるようにしてほしい。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
<p>帰国生の進路(2013~2018年度 帰国生卒業生の主な合格大学)</p> <p>The University of Minnesota 1名 / University of Reading 1名 / St. Petersburg College Florida 1名 / 東京大学 1名 / 東京外国語大学 6名 / お茶の水女子大学 1名 / 首都大東京 1名 / 埼玉大学 1名 / 茨城大学 1名 / 青山学院大学 25名 / 上智大学 22名 / 立教大学 20名 / 早稲田大学 13名 / 中央大学 11名 / 明治大学 10名 / 東京理科大学 6名 / 慶應義塾大学 4名 / 国際基督教大学 2名</p>					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
<p>高校生で、世界9か国の提携校での、ターム留学・1年留学の制度あり。アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ドイツ、ニューカレドニアの中等学校(約20校)へ留学できる。ターム留学は単位認定なし。1年留学は、留学先の現地校での成績を認定し、本校としての進級を認める留学海外大学支援体制。TOEFL iBT, IELTSへの特別指導講座(ネイティブ教員による)がある。国際部で、海外大学から直接、アドミッション担当者本校に招いての海外大学相談会を実施している。また、SATについてのアドバイスも実施。アプリケーションエッセイの書き方講座、添削フィードバック指導などのサポート体制がある。The Common Application(アメリカの大学進学)、U-CAS(イギリスの大学進学)を使って、出願指導も実施。</p>					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
<p>帰国生の彼女たちの幼いころから海外で生活し、身に着けた海外の文化、あるいは言語は、一生の宝物です。この宝物を大切にしながら、母国、日本の優れた文化・美しい言葉をどのようにしたら、うまく覚えさせられるのか。私たちは常にこのことを考えて、帰国生に向かい合っています。私たちは帰国生のことを、一輪、一輪の薔薇だと考えています。同じ薔薇でもすぐに咲く薔薇もあれば、どうしてもなかなか咲かない薔薇もあります。そのような時には、無理に咲かせなくてもよいのです。あせらず原因を探してみましょう。薔薇自身の問題ではなく、薔薇を育てる私たちと一緒に考えていきましょう。薔薇の根を下へ、もっとなおろして根を張らせてみることを私たちは大切なことと考えています。そうすると、いずれ咲く薔薇がより大きく美しいものになるでしょう。10年後、あるいは20年後、この美しい薔薇は、きっと世界のどこかで、また新しい薔薇を咲かせるために、必死で努力をしていると思います。帰国生の皆さん、今の自分に自信を持って、日本に帰ってきてください。</p>					
帰国生対象の英語教室や各種講座について					
<p>「帰国小学生英語講座」を無料で実施 ー 一部部孝彦教授のスーパーバイズー 本校では帰国生小学生(女子)のために無料で、英語保持教室を開講しています。担当は本校のネイティブ専任教員。今年度で13年目を迎える本校の帰国生教育取組の一つ。毎週土曜日10:45 - 12:35での実施です。Reading &amp; Writing、英語でのPresentationなどのアカデミックな内容も取り入れて、将来の英語力の伸長に必要な学習を行います。帰国後、英語保持のために何か取り組みを探していっしょの方がおりましたら、ぜひ連絡を下さい。詳細は、toiawase@otsumanakano.ac.jp までどうぞ。</p>					